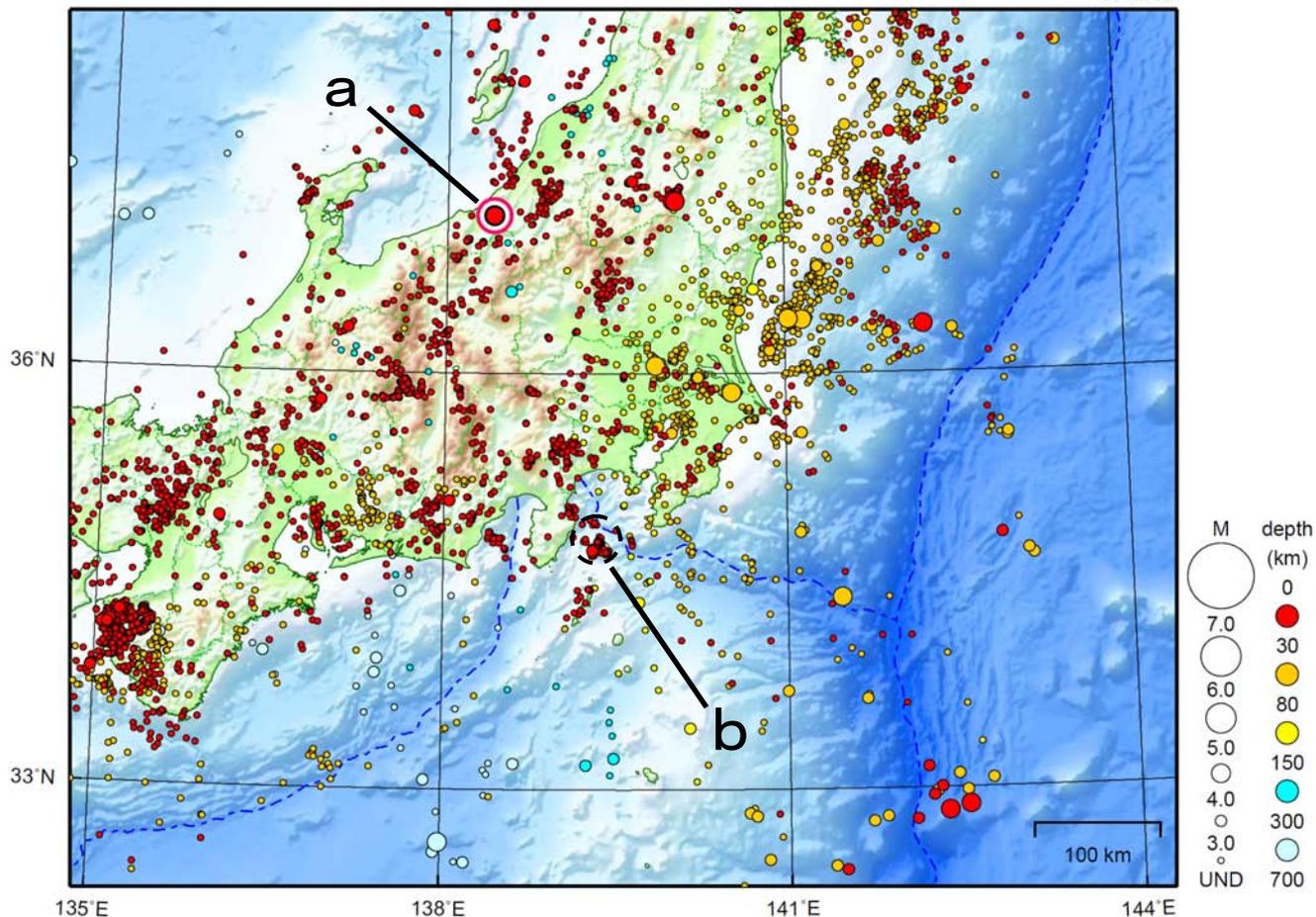


関東・中部地方

2010/10/01 00:00 ~ 2010/10/31 24:00

N=6335



地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOPO30、及び米国国立地球物理データセンターの ETOPO2v2 を使用

- a) 10月3日に新潟県上越地方で M4.7 の地震（最大震度 5 弱）が発生した。
- b) 10月17日から18日にかけて伊豆大島近海で、M3.1（最大震度 3）を最大とするまとまった地震活動が見られた。

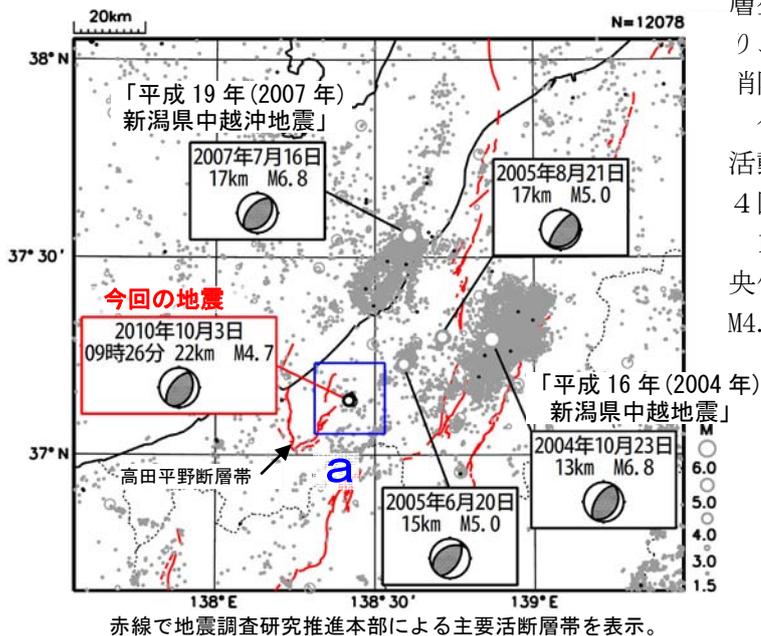
（上記期間外）

11月5日に茨城県南部で M4.6 の地震（最大震度 4）が発生した。

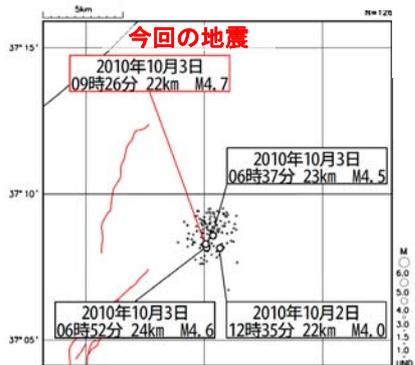
[上述の地震は M6.0 以上または最大震度 4 以上、陸域で M4.5 以上かつ最大震度 3 以上、海域で M5.0 以上かつ最大震度 3 以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。]

10月3日 新潟県上越地方の地震

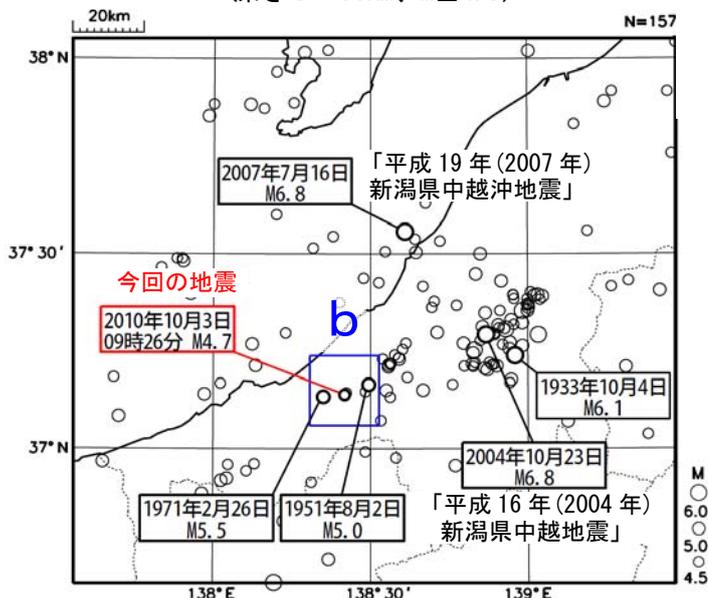
震央分布図 (1997年10月1日~2010年10月31日、
深さ0~30km、 $M \geq 1.5$)
2010年9月以降の地震を濃く表示



領域aの拡大図



震央分布図 (1923年8月1日~2010年10月31日、
深さ0~90km、 $M \geq 4.5$)

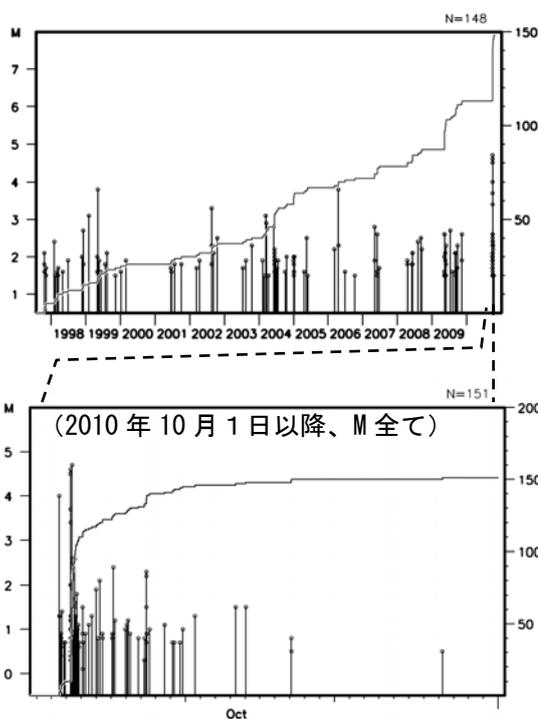


2010年10月3日09時26分に新潟県上越地方の深さ22kmでM4.7の地震（最大震度5弱）が発生した。発震機構は、西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、地殻内で発生した地震である。この地震により、非住家一部破損15棟などの被害があった（総務省消防庁による）。

今回の地震の発生した場所では10月2日から地震活動が観測され始め、3日までにM4.0を超える地震が4回発生した。10月末現在、地震活動は収まっている。

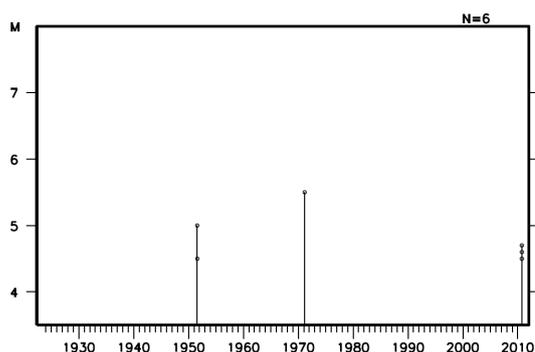
1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震央付近（領域a）では、今回の活動より前の期間ではM4.0を超える地震は観測されていなかった。

領域a内の地震活動経過図、回数積算図



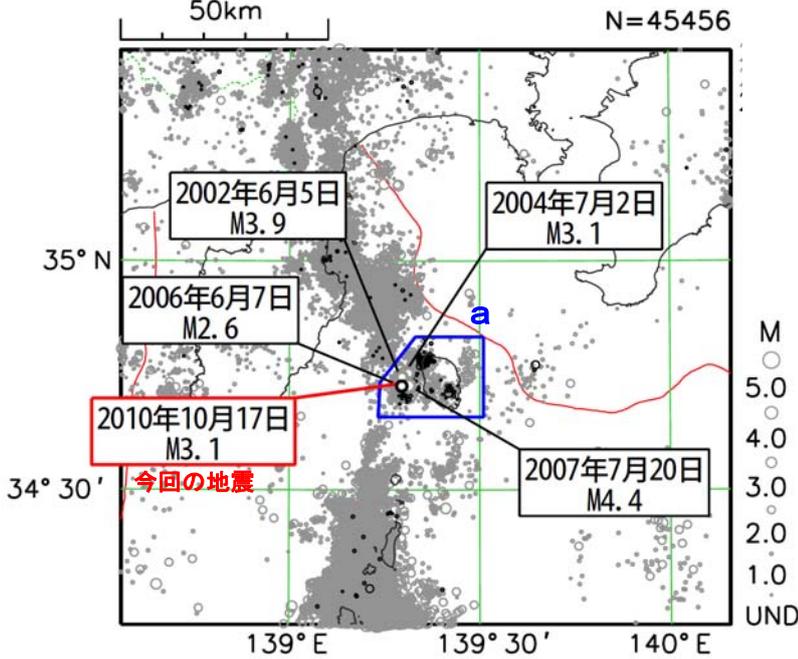
1923年8月以降の活動を見ると、今回の地震の震央付近（領域b）では、M5.0以上の地震が2回発生している（1951年の地震は微小な被害、1971年の地震は負傷者13人等の被害：「最新版 日本被害地震総覧」による）。

領域b内の地震活動経過図



伊豆大島近海の地震活動

震央分布図 (1997年10月1日～2010年10月31日、
深さ0～20km、Mすべて)
2010年10月以降の震源を濃く表示。



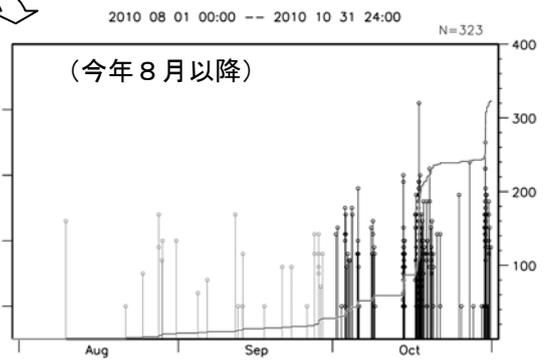
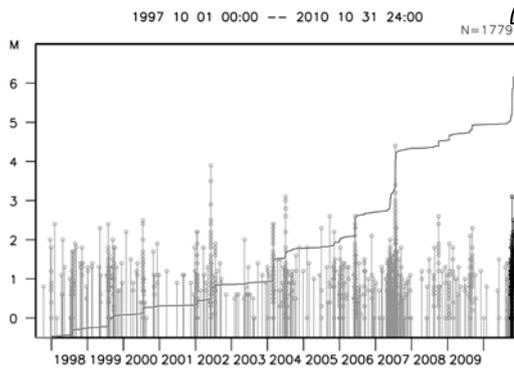
2010年10月に、伊豆大島近海でまとまった地震活動が見られた。

今回の活動における最大の地震は17日20時01分に発生したM3.1の地震 (最大震度3) で、17日夕方から18日未明にかけて、地震活動が一時活発となった。

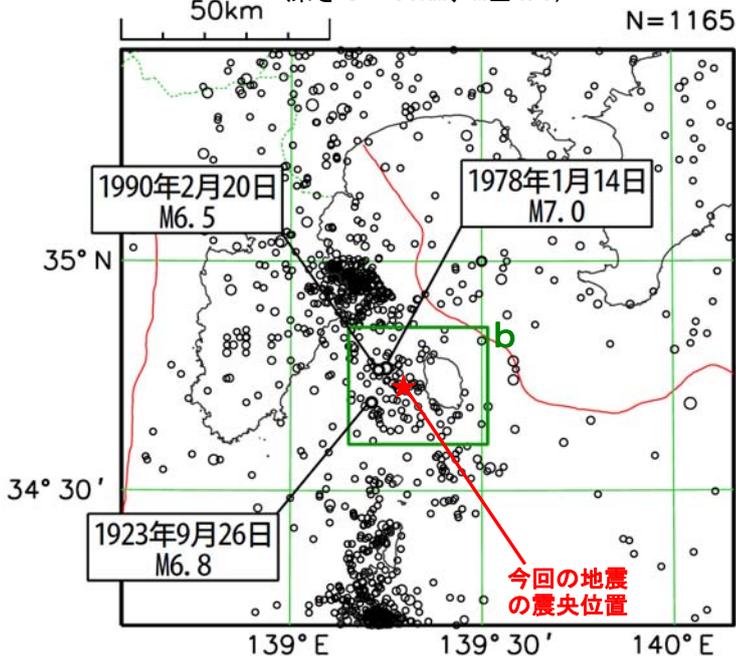
今回の活動 (領域 a) で、震度1以上を観測した地震は、17日のM3.1の地震のほか、11回観測された。

伊豆大島近海では、2002年6月、2004年2月および7月、2006年6月、最近では2007年7月頃に地震が多く発生している。

領域 a 内の地震活動経過図と回数積算図



震央分布図 (1923年8月1日～2010年10月31日、
深さ0～50km、M≥4.0)



1923年8月以降、今回の活動域の周辺では、1978年1月14日のM7.0の地震 (最大震度5、「1978年伊豆大島近海の地震」)、1990年2月20日のM6.5の地震 (最大震度4) など、比較的規模の大きな地震が発生している。

領域 b 内の地震活動経過図

